

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市玉島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は昨年度に引き続き、「コロナ禍での施設運営について」を重視して評価した。</p> <p>屋外でのイベントを毎月企画するなど、コロナ禍でも利用者が満足できるよう工夫し、利用者満足度が昨年度を上回る結果となったことは評価できる。</p> <p>また、利用者へのマスク着用の徹底の呼びかけや検温の実施、定期的な館内の換気・消毒など、感染予防対策も十分に施されていることも評価できる。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策については、日々の来所時対応を通して、利用者への感染予防対策の啓発を行った。主なものとして、利用者への対応（マスク着用・手指のアルコール消毒、検温、健康確認）、環境設定（換気・消毒、加湿、パーテーションの設置など）、消毒作業の実施、職員の健康管理等を実施した。</p> <p>障がい者・児や難病の方、またその家族が地域で生活するにあたり、抱えている課題や不安などについて相談を受け、解決に向けて、面接、電話、訪問、同行等により支援を行った。地域に根ざした障がい者支援センターとして、他機関と連携しながら、情報の収集と共有、地域課題の把握に努めた。</p> <p>カラオケや卓球、パソコンの利用について制限する期間があったことにより、その利用者は減少しているが、相談において、電話ではなく、家庭や利用している福祉サービス事業所への訪問ニーズが多く、それらが増加したことにより、合計人数としては増加した。</p>	

	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、はばたきふれあい祭り等3密を避けられない行事は中止したが、利用者のニーズを把握したうえで小規模の代替行事を開催するなど、可能な限り実施に努めた。</p> <p>支援力向上を図るため、派遣研修、オンラインを使用した研修会等に積極的に参加した。また、相談支援の質の向上のために、倉敷地域自立支援協議会の各部会活動への参加、基幹相談支援センター訪問型 OJT を受け、職員の資質・支援能力の向上及び知識の習得を図ることができた。</p> <p>玉島地域の相談支援専門員の交流会を実施し、それぞれの事業所の状況や、計画相談について悩んでいることを話し合うなど、他の関係機関等とも、積極的に情報収集や情報共有を行いながら支援を行った。</p> <p>玉島地域の高齢者支援センターと連携を図ることも増えた。</p>
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に係る事業内容や職員の対応について、95.9%の利用者から、満足又はほぼ満足の回答が得られた。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績		今年度	前年度	特記事項（前年比）	
	施設利用者	8,947 人	8,779 人	102 %	
	相談支援	来所面接	2,886 件	2,961 件	97 %
		電話相談	1,405 件	1,558 件	90 %
		家庭訪問	604 件	536 件	113 %
		同行	89 件	118 件	75 %
		ケア会議	155 件	136 件	114 %
	相談支援合計	5,139 件	5,309 件	97 %	
(2) 事業の内容	<p>(1) 日常生活支援</p> <p>(2) 在宅福祉サービスの利用援助</p> <p>(3) 相談・情報提供</p> <p>(4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業</p> <p>(5) 地域交流・啓発活動</p> <p>(6) 障がい者及び家族等の地域生活の支援</p>				

4 収支（玉島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	35,852千円
	市からの指定管理料(委託料)	33,472千円
	利用料金	2,339千円
	その他の収入	41千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	36,001千円
	主な支出	
	人件費	25,847千円
	光熱水費	1,734千円
	修繕料	325千円
	備品購入費	0千円
	消耗品費	378千円
	施設管理委託費	909千円
その他経費	6,808千円	